

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結) 平成15年7月30日

上場会社名 太平洋工業株式会社 (コード番号:7250 東証・名証 第1部)
(URL <http://www.pacific-ind.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小川 信也 (TEL:(0584)93-0117)
責任者役職・氏名 経理部長 清水 高文

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高 (百万円未満切捨表示)

	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	11,367	-
平成15年3月期第1四半期	-	-
(参考)平成15年3月期	46,129	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

・第1四半期の連結売上高は、当社(太平洋工業)ならびに日本およびアジアの子会社は総じて堅調に推移しましたが、プレス製品事業を営む米国の子会社が、金型売上計上の時期が遅れたことなどあって予想を下回り、全体では予想比3.6%の減少となりました。

(事業種類別セグメントの状況)

- ・プレス・樹脂製品事業は、当社および台湾の子会社の売上高は予想を上回ったものの、米国の子会社の売上高が予想を下回ったことにより、全体では予想比4.8%の減少となりました。
- ・パルプ製品事業は、海外子会社は予想どおりの売上高を計上しましたが、当社の売上高が予想を下回ったため、全体では予想を1.0%減少しました。
- ・情報・サービス事業は、堅調に推移し予想を10.3%上回りました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

		予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期(中間)純利益
		百万円	百万円	百万円	円 銭
今回発表予想 (A)	中間期	23,400	600	250	4.67
	通期	48,500	1,250	650	11.77
前回発表予想 (B)	中間期	24,200	650	400	7.47
	通期	48,700	1,350	850	15.51
増減額 (A-B)	中間期	800	50	150	2.80
	通期	200	100	200	3.74
増減率(%)	中間期	3.3	7.7	37.5	37.5
	通期	0.4	7.4	23.5	24.1

【中間期】

(売上高) 当社および米国のプレス会社を除く子会社は、順調に推移する見込みですが、米国のプレス会社は金型売下が下期にずれることなどにより予想を下回り、全体で減収を見込んでおります。

(経常利益) 当社は予想を上回る見込みではありますが、米国のプレス会社が予想を下回ることから、全体では若干の減益となる見込みです。

【通期】

(売上高) 中間期と同様、当社および米国のプレス会社を除く子会社は、順調に推移する見込みですが、米国プレス会社が予想を下回ることから、全体では減収の見込みです。

(経常利益) 当社は予想を上回る見込みではありますが、米国のプレス会社が下半期における赤字巾は減少するものの予想より減益となることから、全体では減益となる見込みです。

(参考)平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

		予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期(中間)純利益
		百万円	百万円	百万円	円 銭
今回発表予想 (A)	中間期	19,000	600	350	6.49
	通期	39,000	1,500	900	16.32
前回発表予想 (B)	中間期	18,600	400	250	4.64
	通期	38,600	1,200	750	13.54
増減額 (A-B)	中間期	400	200	100	1.85
	通期	400	300	150	2.78
増減率(%)	中間期	2.2	50.0	40.0	40.0
	通期	1.0	25.0	20.0	20.5

【中間期】

(売上高) バルブ関連製品が予想を下回るものの、プレス・樹脂製品が主要顧客の自動車生産台数増や車種構成変化などにより予想を上回ることから、全体では増収を見込んでおります。

(経常利益) 売上高増の効果が大きく、予想を上回る見込みであります。

【通期】

(売上高) 中間期と同様、バルブ関連製品が減収の見込みではありますが、プレス・樹脂製品の増加により全体で増収を見込んでおります。

(経常利益) 売上高の増加や原価改善効果などにより増益の見込みであります。

業績の予想は現時点での将来に関する前提・計画・見通しに基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上